



残して行きたい大切な財産



海・山・まち
Have a good trip

地域みんなで六地藏幢を守っています



これを
紹介したよ

きんちゃん

松橋町竹崎に残る史跡、六地藏幢。1480(文明12)年に建てられたといわれ、室町時代から530年以上地域を見守っています。そんな守り神とともに周辺地域「屋敷」に暮らす皆さん。毎年8月24日の「六地藏尊祭り」では、「屋敷」の住民が集って宴を催し、お参りした子どもたちにはお菓子が配られます。今でも六地藏幢は、地域の強い絆を結ぶ大切な財産です。



地域の魅力、盛りだくさん。



これを
紹介したよ

野村 美晴

豊かな水源に恵まれた小川地区が発祥の地とされる茗荷まんじゅう。白玉もちもち食感と茗荷の葉の柔らかな香りが、一度食べたら忘れられない味わいです。小川地区では、昔から各家庭で受け継がれるおふくろの味。5〜7月頃に田植えの休息や子どものおやつ、地域の祭りでも振る舞われ、毎年食べられていきます。季節の中に伝統が息づく「わさもん情報」です。

茗荷の葉の香りがほのかに漂う季節の茗荷まんじゅう



わさもん情報
What's new

茗荷まんじゅう作りの伝統を受け継ぐ皆さん



→お菓子屋に勤めていた河野さん(左)からプロの技術を学ぶ
↑味はバッチリ ←蒸気が通りやすいように互い違いに蒸し器に並べる ↓投稿用の写真撮影は季節のお花と一緒に

作り方の動画はこちら



↑幢体6面にそれぞれ別の地蔵像が彫刻されている
↑祭りで六地藏幢にお参りする児童 ←取材では撮影も工夫

↓終戦直後の昭和20年から残る祭りの記録



アンバサダーの
きんちゃんです



地元の魅力を発信

子どもが独立し、地域のボランティアなどをしてきましたが、この募集を見てやってみたいと思い応募しました。私は年を経てから、普段いる場所がこんなに素晴らしいんだと気付くようになり、地元が好きになりました。

そんな地元の魅力を発信することが楽しくて。投稿は慣れていなくて難しいですが、いろんな人に見てほしいですね。みんなが知ってる宇城市ではなく、地元の人しか分からないとか若い世代が知らないような、とっておきの宇城市を伝えられたらと思います。やりたいことはたくさん。普段からキョロキョロ地域を見る癖ができました。笑

人をつなげていく

物産館にこぞって集まるお客さん、売り切れ続出。この茗荷まんじゅうを売る時期特有の光景を見て、地域って面白いなと思っただけです。

小川にいる私たちにとつて、茗荷まんじゅうを家で作るのには当然だけど、それが当たり前じゃなくなるかもしれない。だからこそ、今のうちに知って、受け継がなければと思います。

もともと、地域の魅力を伝えることで生まれる、人と人のつながりが好き。先日記事で紹介し、テレビで取り上げられたことから、訪れた人とその農家さんがつながったという話を聞いたときは、うれしかったですね。

植物の種類や日本茶については詳しいです！

アンバサダーの
野村美晴です



日本ハムファイターズの中田翔選手押します。